

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2007-11349(P2007-11349A)
 【公開日】平成19年1月18日(2007.1.18)
 【年通号数】公開・登録公報2007-002
 【出願番号】特願2006-176161(P2006-176161)
 【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1368

G 0 2 F 1/1335 5 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月22日(2009.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の画素を有し、

前記各画素は、

透過型液晶キャパシタと、

前記透過型液晶キャパシタに接続されている第1反射型液晶キャパシタと、

一端が前記透過型液晶キャパシタ及び前記第1反射型液晶キャパシタと分離されている第2反射型液晶キャパシタとを有し、

前記複数の画素は互いに異なる基本色をそれぞれ表示する第1及び第2画素を有し、前記第1及び第2画素の反射率曲線が実質的に互いに一致することを特徴とする液晶表示装置。

【請求項2】

前記画素の透過率曲線と前記反射率曲線が実質的に一致することを特徴とする請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項3】

前記第2反射型液晶キャパシタの両端電圧は、前記第1反射型液晶キャパシタの両端電圧より小さいことを特徴とする請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項4】

前記第2反射型液晶キャパシタに接続されている補助キャパシタをさらに有することを特徴とする請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項5】

前記第1及び第2画素の補助キャパシタの容量は互いに異なることを特徴とする請求項4に記載の液晶表示装置。

【請求項6】

前記透過型液晶キャパシタ、前記第1反射型液晶キャパシタ及び前記補助キャパシタに接続されているスイッチング素子をさらに有することを特徴とする請求項4に記載の液晶表示装置。

【請求項7】

前記透過型液晶キャパシタ及び前記第 1 反射型液晶キャパシタは、前記スイッチング素子からデータ電圧の印加を受け、

前記第 2 反射型液晶キャパシタは、前記補助キャパシタから前記データ電圧より小さい電圧の印加を受けることを特徴とする請求項6に記載の液晶表示装置。

【請求項 8】

前記透過型液晶キャパシタ及び前記第 1 反射型液晶キャパシタは、それぞれ前記スイッチング素子に接続されている透明電極及び第 1 反射電極を有し、

前記第 2 反射型液晶キャパシタは、前記透明電極及び前記第 1 反射電極と分離されている第 2 反射電極を有することを特徴とする請求項6に記載の液晶表示装置。

【請求項 9】

前記第 1 画素の第 1 及び第 2 反射電極の面積比と前記第 2 画素の第 1 及び第 2 反射電極の面積比とが互いに異なることを特徴とする請求項8に記載の液晶表示装置。

【請求項 10】

前記複数の画素は赤色、緑色及び青色をそれぞれ表示する赤色画素、緑色画素及び青色画素を有し、前記赤色画素の第 1 及び第 2 反射電極の第 1 面積比は前記緑色画素の第 1 及び第 2 反射電極の第 2 面積比より小さく、前記青色画素の第 1 及び第 2 反射電極の第 3 面積比は前記第 2 面積比より大きいことを特徴とする請求項9に記載の液晶表示装置。